

「きらみずき」情報NO.2

滋賀県東近江農業農村振興事務所農産普及課
(東近江農業普及指導センター)

遅れずに穂肥を施用しましょう！

～5月上旬移植で7月9日頃から～

1 管内の「きらみずき」生育状況

- ・5月29日の梅雨入り以降、曇りや雨の日が多く、草丈が長く、葉色は維持できています。
- ・5月下旬移植でも中干時期を迎えています。

(表)管内実証ほ調査結果(6月20日時点)

移植日	5月5日頃	5月10日頃	5月20日頃
草丈(cm)	44.7	35.9	34.6
茎数(本/㎡)	343.3	380.2	250.2
葉色	41.2	38.6	35.3



※管内11地点の結果を取りまとめた結果。

5月1日移植の「きらみずき」(6月23日時点)

2 穂肥を適期に施用しましょう！

「きらみずき」は有機質肥料を施用することから、**幼穂形成期(幼穂長1mm)の1週間前頃**が穂肥施用の適期となります。以下の施用時期を目安にほ場を確認し、穂肥を施用しましょう！

穂肥時期の目安(※1)

施用時期	(5月1日移植)7月9日頃 (5月10日移植)7月13日頃 (5月20日移植)7月17日頃
------	---

(※1)今後の天候や地域によって施用時期が異なる可能性があります。

穂肥が遅れると、収量低下につながるだけでなく玄米タンパク質含有率が上昇し、食味低下にもつながります。

穂肥施用量(※2,3) 有機質肥料で窒素成分4kg/10a施用しましょう

肥料	施用量
滋賀こだわり元肥855	50kg/10a
有機アグレット844	50kg/10a
有機アグレット727	55kg/10a
有機アグレット674	60kg/10a

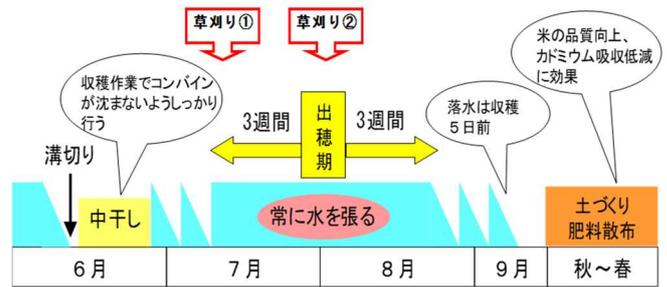
(※2)葉いもちの発生など穂いもちの発生が懸念される場合は穂肥を減量してください。

(※3)オーガニック栽培では有機アグレット727、有機アグレット674を使用して下さい。

3. 今後の水管理

- ・出穂期前後は水稲が最も水を必要とします。**出穂前後の各3週間を常時湛水**することで玄米品質低下を軽減できます。
- ・環境保全型農業直接支払交付金で「長期中干し」を選択されている場合は、14日以上の中干しを確保してください。

今後の水管理・ほ場管理のイメージ



※5月上中旬植での水管理のイメージ
(コシヒカリ)

4. カメムシ対策！畦畔を2回連続草刈

- ・斑点米の原因となるカメムシ類は、ヒエ等のイネ科雑草の穂を好み、畦畔に集まります。
- ・そこで、**イネの出穂3週間前と出穂期の2回草刈り**を行い、カメムシ類を寄せ付けないようにしましょう。



◆「きらみずき」生産者に向けた穂肥現地研修会を開催します！

「きらみずき」の穂肥適期施用や品種特性、栽培方法の理解を目的とした現地研修会を以下のとおり開催します。当日はこれまでの「きらみずき」生育状況や穂肥施用のタイミング、今後の管理について説明しますので、皆様ご参加ください。

日時…令和5年7月5日(水) 10:00~11:00(午前の部)

13:30~14:30(午後の部)

場所… 午前の部:竜王町橋本 午後の部:近江八幡市安土町石寺

※詳細は事前にお送りした開催の案内をご確認ください。

※午前の部、午後の部ともに内容は同様になります。

※研修会場所には駐車場がございませんので、できる限り乗り合わせでお越しください。